

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（STACY（定常臨界実験装置）施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（18）
2. 日時：令和5年6月28日（木）16時00分～17時10分
3. 場所：原子力規制庁10階会議卓A（対面及びTV会議により実施）
4. 出席者：  
原子力規制庁  
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門  
金子安全規制調整官、島村主任安全審査官、澁谷安全審査専門職、三好技術参与  
  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部 次長 他4名  
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部  
施設保安管理課 技術副主幹 他1名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料  
資料1：使用前事業者検査の受検炉心（資料ST-18-1）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、ただいまから、水のヒアリングを始めます。今日の主旨としては、以前、受験ご自身の広報について資料をいただきまして、それについて、閉庁の検査部門と、
0:00:18	話をして参りましたので、その結果をお伝えして、また、その結果を受けて、可能なオプションについてお話させていただければと思います。その面談の数字としては二つありまして、
0:00:35	アセスが、
0:00:38	何かユッケ装置であることから、多様な炉心を構成可能ですので、いろいろ休校するとかをおっしゃっていただいて、その中から、岸三野。
0:00:50	方針ということで、解析上の代表炉心というものを設定していただきました。
0:00:56	この部分につきましては、その解析の代表炉心を参考にして、増井委員や燃料棒について、濱本瀬田ってということで、今考えているけども、それについてどうかというのが、
0:01:11	ひと月サポートの一番の一般ノイズ1通の二つ目の質問は、原油原料棒が400なので、それに対する代表上申として市田宏と。
0:01:25	昇進がありますと、また追加で、最大の燃料棒本数がそういったときに、構成される炉心として3脱臭ロジック4刺しの進化。
0:01:37	あるんだけど、現在では、現時点では3ダッシュ炉心と4だし炉心の
0:01:43	検査と確認はできないんだけど、それについて、建設部門として考えるということの2点について、確認を行います。
0:01:54	それ、それに対する先方の回答ですけれども、こちらの回答ですけれども、羽田博委員から受検都市を選ぶという考え方については、特に
0:02:08	変わりはないっていうことでした。一方、都丸三田氏炉心と④炉心が、現在は構成するための、
0:02:18	燃料棒の本数が足りないという状況についてですけれども。
0:02:23	その確認というのは、あくまで向こう2通りであることということを確認するということなので、丸さんが縛る4社心が、
0:02:37	実際に検査ができない段階で、900トンまでの、その辺、
0:02:45	路線の確認を行ったことにはならない理由、回答でしたというのが、打ち合わせ結果っていうことになります。
0:02:55	それを受けて可能なオプションですけれども。
0:02:58	ちょっとSUMCOさんからっす。まだ話が、或いはデブリも博の話をしていって、
0:03:08	その流れですね基本方針の話にはなんですよ。今の検査部門等、JPの方で、
0:03:16	基本炉心の塩川健さん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:19	どうしようかっていう話が、調整してるって話があって、
0:03:24	年前に進んでないっていう。
0:03:26	ような話。
0:03:32	それ要は、400本で組める炉心と、900本が必要と思うし、中出瓜生三田城いろんな人が全く同じ構造で、
0:03:45	100本以上のものは確認したことにならないんだ。
0:03:50	ので、このままだと思う。
0:03:56	というような、
0:03:57	認識でした。
0:04:01	ちょっとここでJAとしての見解を聞きたいんですけど、おそらく同じようなことを県の方から言われてるんですよ。
0:04:09	違う。
0:04:12	事例としては、その検査部門の
0:04:17	お考え、意見に対しては、
0:04:20	何らかもう、
0:04:22	明確な回答をしてないんですか。
0:04:25	それでいいですよ。
0:04:29	この原子力機構のソノです。その辺の調整を部で繋いでいる。ステージの小林さん。
0:04:37	答えられますか。
0:04:43	はい。ステージの小林です。
0:04:45	はい検査班からそういう話は、お聞きしております、
0:04:54	はい。
0:04:55	お聞きしております。
0:04:58	そうすると、これをほっとくと、基本方針さえシマムラ検査ができないことになってきますけど、私はそれで良くないと思うんですけど。
0:05:08	どうしようか。
0:05:10	はい。原子力機構の佐野です。これ、行政相談。
0:05:16	これまでお話しするかどうか、考えてきたところですけども、いくつかやっぱりオプションがあらうかと思っています。
0:05:26	一番現実的なのは、設工認を一部変更して、
0:05:31	その元、その基本方針の設工認では、900本の燃料も追加がありますので、
0:05:39	ここの部分を取り下げて、
0:05:41	それで、40本原油の400本で、原子炉の性能としての検討を受けるということですよ。それが現実的かと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:53	明確な回答をしてなかったのはですね。
0:05:57	やはりロシアからの燃料輸送がいつ再開できるのか、その辺の見通しがですね、有事の動静もありまして、機構としてもそこが判断できなかったということで、
0:06:12	また現実的にはなかなか中速が見えないということもありますので、
0:06:16	この点については、
0:06:22	もう一つのオプションとしては、
0:06:25	部分合格っていうんですかね、
0:06:28	一部、
0:06:30	使用承認の形で、設工認を保留としつつ、900本の燃料棒を除く部分について、
0:06:41	部分的な使用承認をいただく。
0:06:45	これに関しては、はい。いろいろオプションを話し合わせていただいていたんですけどもそれ以外にも、
0:06:53	400本で、規制庁さんに見ていただくところは見えていただきまして、ただし、残りが追加されましたら私ども事業者検査の方でやると。
0:07:05	規制調査の全体見るというよりは事業者検サーモを併用してやるのでいいのではないかというようなオプションを話し合わせていただきましたけれども、まだ明確な結論は出ていなかったかなと。ええ。
0:07:18	そう。私条件に関しましても、
0:07:21	例えば一部だけでしたら持ってこれるかもしれないというような話もありまして、1回兵頭してしまいますと、例えば状況は好転して全部無理でも、
0:07:32	例えば30分40分持ってきてっていうときに話がまたちよっと。
0:07:38	ちよっと本当にそのことですので、状況が流動的なんですけど、
0:07:43	ちょうど計算の方の担当者の方から最後にご説明したときで、我々が、
0:07:53	無錫本で規制庁さんには潮目確認いただいて、
0:07:57	それから機構後から来た時には機構の事業者検査っていう話はしてたんじゃないかなったっけ。
0:08:05	はい。STACYの小林です。一応方向の話は
0:08:12	しました。400本で受けた上で、あとはその事業者の範囲で、という話はしたんですけども回答というのはまだられてない状況でした。
0:08:26	アンケートの方が変わってしまったんで私ども県版の方の
0:08:32	水木小枝です。はい。私ども東端、検査班の方の話し合いも、
0:08:39	ちよっと途中になっていたかなというところですね。そしてデブリ模擬与信の話が始まってしましましてこの話が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:48	どう片づくカーで基本炉心の方も変わってくるかなと、私ども考えておりました。はい。はい。原子力検査ですが、そういう意味でですね、その設工認の一部取り下げもですね、
0:09:01	行政相談としてそう、相談したい点がありまして、
0:09:09	もしこの後ですね、誘致が好転して、
0:09:13	それ持ってくれるっていったときに、すでに材料検査とか寸法検査は現地で置いているということもありまして、
0:09:22	そういったのを残した。
0:09:24	状態で、一部、
0:09:28	取り下げるでもし、
0:09:29	輸送が再開できるときには、その検査結果は有効で、その後の輸送と、あと貯蔵に係る検査を行うとか、そういったことを相談したいと思っております。
0:09:42	この辺はそういう意味で、法令ではですね、おそらく想定されていない状況であるかと思しますので、
0:09:50	そういう意味で相談が必要かなと考えております。
0:09:54	はい。規制庁加納ですけど、今いろいろごちゃごちゃにして説明があったので、今は一番最後に磯野さんからあったのは、取り下げた場合の話ですね。
0:10:06	取り下げた場合に同意するとし、したもんですかね。頑張った方がいいですって話をし、リーダーさんからあったのは、400本で事業者検査やって証明を受けて残りは事業者検査に、いう話。丹治さんとしてはサンデーとしては、どうしたのかよくわかんない。
0:10:26	取り下げに取り下げる方向にしたんです。
0:10:29	荻野助教そうですが、いっぱいそういう意味では、一番はですね、ロシアの情勢が今後どう変わっていくのかというのが見えないということで、判断を、
0:10:41	できない状態であるということなので、
0:10:44	いよいよその寄与、基本方針の、受験をすとなつたときにどうするのかということで、やはり行政相談したいと思っております。
0:10:54	ないものは検査ができないというのはもうこれは、
0:10:58	二名ですので、
0:11:00	技術的な4社本で受験をするという方向で、
0:11:05	考えるときに、今申し上げた取り下げと、それから、部分的な検査の結果を保留にしたままとか、そういったことを行政相談することになるかと思っております。
0:11:17	その時期についてはそうですねもう今日のこういうお話も、
0:11:25	お聞きしたので、近々そういったことを相談したいなと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:30	はい。スケジュール的には改めて、どうぞ。基本方針の扱いをどうするかっていうのは行政相談でお伺いしたいという、そういう話だったので。はい。そうするとしていつ頃になるんです。
0:11:43	基本方針の中の使用前検査のタイミングと、はい。阿部のスケジュールです。はい。元助教の宗ですが、今原子力機構で考えてるスケジュールではですね。
0:11:55	なんない。
0:11:58	2、プラントの引き渡しですね、施工メーカーから現状機構へのプラントの引き渡しをして年明けから性能検査、
0:12:12	に入っていこうと思っておりますので、
0:12:18	直近は、もう、もちろんいろんなものが準備が整っていないといけないので、今日は6月28日ですので、そうですね。7月、
0:12:29	中には、相談したいと思っております。7月といった準備が整えばですね、早い方がいいかなというふうに思っております。
0:12:43	で今は、
0:12:46	水揚げ。
0:12:48	うん。
0:12:54	はい。
0:12:55	これは認証機構伊庭ですけれども、基本方針に関してはもう随分以前に認可をいただいて設工認通りというのはどういうことなのかという議論は
0:13:06	最近出てきたものと認識しているんですけれども、私どもは当初主張していた400本以下でやった時点で900本以下で、900本以上になった時の特段変わりはないというのはもう、
0:13:20	計算不安の方はもうそれは方式に、900万。
0:13:25	500を超えてきたら、900本の試験もやりたいと、ご確認されたいということはもう公式なご回答ということでよろしいですか本日承っております。昼食等ですね、今の最後の400本を受けた海脚やりたいっていうのは、400。
0:13:41	本人400本以内で検査をやりましたら当初としては特に中学校に増えたからといって何かが変わるわけではないと、運転のやり方は同じですということで申し上げておりましたけれども。
0:13:53	ロシアから新たに900本ほど来まして、本数が増えたら、再度、
0:14:01	事業者がやるか、区長さんがやるかは置いておいて、再度ご確認されたいというのはもう、
0:14:10	そういうふうに聞いてます。なるほど。同じ話を聞いてんじゃないですか。金さん、そこをどうするかは、そうです。おっしゃる通りなんですけど、あまり、何て言いますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:23	公的に伺ったというよりは何かご相談、
0:14:29	中だったという感じですので、ちょっと新たにもう一度改めて、
0:14:35	池さんの方にもほら、お尋ねしますけれども、私の方もそういう業者本当はあれで すかね、透明性っていう観点もあるので、検査官も入れて、3社、審査と計算合わ せて、
0:14:50	話した方が見込ま残らないで幾らかないです。私ども方針決まりましたら、そのよ うに、言った言わないで行こうが残っちゃうとまずいので、関係者みんな集めて、こ ういう方式の面談っていうまで、どういうことかっていうの学者と。
0:15:07	認識をね、
0:15:09	一度お借りして確認した方が、アイコンが残るんじゃないかっていうそういう、あり がたいです。その辺の話を改めてやろうとして、
0:15:22	まだ7月中にはちょっと改めてまた長期不況下ね。
0:15:27	はい。現状のそうですが、そういう意味では7月下旬、末あたりに審査会合は、行 っていただけるような話をちょっとお伺いします。その前には、
0:15:41	そういう携帯版と精神班の3者でお話したいなと思います。
0:15:48	安全審査対応の場で、基本の審議をどうするかは、そういう話もね、あっても、打 ち合わせをした。
0:15:58	横ばいでね。うん。言っちゃった方がいいのかなという気はしてるんですけども、機 構の宗です。はい。そうした方がよろしいかと思えます。はい。
0:16:10	はい。わかりました。ちょっと決算の内訳ちょっと。
0:16:17	長い間中なんですよ。
0:16:19	してるなっていうのもあるので、ちょっと判断で、お呼びしてですねお話を聞かせ いただきました。
0:16:25	状況は理解した佐藤JAの認識はわかりました。
0:16:30	改めて繰り返しなりますが3社の話。
0:16:35	確認なんですけども、JAとしてどれをするかはとりあえず置いて、取り下げる っていう話とか一部就労商品の話。
0:16:46	僕はちょっと二つっていう感じですか。
0:16:51	は別のそうですが、それしかないかなと思います。ごめんなさい結構ですから、一 部取り下げるか、一部使用承認で使わせていただくか、或いは40分で一度合格 をいただいてしまって、経営サポートといったときには事業者の検査を行うとい うのを、真木内野さんにはウォッチしていただくと。
0:17:11	いうことはそういうことなんですよ。
0:17:24	わかりました。
0:17:30	おい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:34	基本の話は、煙もご両親の申請の、はい、申します。
0:17:44	同じような問題をはらんでるような気は。
0:17:51	同じように、400本の範囲だけで申請をするっていうか、
0:17:56	基本方針と同じように、
0:18:02	ロシア燃料を含めた形で、今の形です。
0:18:07	3日を目指す。
0:18:10	例としてどちらがいいですか。
0:18:13	はい、畑野原子力実は、
0:18:18	設工認自体はですね、900本まで含めて、解析、それから
0:18:26	八尋氏も選定しているので、そこまでの説明を終えたというふうにしたいと思っております。その上で検査については、ないものはないので、
0:18:36	A4社。
0:18:39	本ですか、部分し、一部使用承認とするか、或いは、嶋事業所建造、やはりその選択肢になってくるかなあとは思っています。
0:18:53	基本方針の時と今のMCの、もうその状況が若干変わってきてね、基本方針の変化の時には新燃料がこんな感じで滞っちゃうっていう想定してなかった。はい。
0:19:05	ということなので、900台追加炉心、
0:19:10	を含めた工事認可については、
0:19:13	問題なかったんですけど。
0:19:15	今、
0:19:16	はいつ来るかわかんない燃料、
0:19:19	どういう扱いになっちゃう。
0:19:21	出ますよね。それを、そういうソノが全くない状態を、状況を含んだ。
0:19:28	認可申請書を認可できるのかな。
0:19:33	議論にも、
0:19:34	終わってるじゃない。そこは、現状感想ですが。うん。確かにおっしゃる通り、
0:19:45	見通しが無いものっていうのはやっぱり工事計画ですね検査を含めた工事計画も立てられないものですから、その一部使用承認という形でもし、
0:19:55	部分合格をもらったとしてもですね、最終合格までどうするんだという部分もありますので、
0:20:02	現実的には、
0:20:04	400本、0する900本については、取り下げた方がいいかな。ちょっとそれはですね私どもの受託元にも確認しなければならないですね。はい。私どもの一存で400に限定してしまいますと、先ほどちょっと申しましたけれども
0:20:26	何とか手を使って例えば900全部も50%持ってきたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:31	というようなことが実現可能になりました場合その燃料が使えなくなってしまう。そのオプションを今ちょっと切ってしまうためには、委託元に相談しないといけませんので、ただ経営者さんの心、形としてはもう見通しがかないいんだから落として、
0:20:51	しまうべきというご意見もあると、そういうお考え、判断としてはあると思うんですよね。そういう判断はいろんな半田さんが、
0:21:04	なので、まずJAの人はそう考えるっていう形で、今でも存続できないのであれば、持ち帰ってご検討いただいたという名前。
0:21:14	話ありますけど、そういう考え方は十分ご理解いただけるんじゃないかと思うんですよ。この荒唐無稽な申請を出されていたけども、
0:21:24	隕石にありえないような基準に適合してるからといって認可できるのかっていう話も、
0:21:32	出てくるはずなので、まずは400本の部分について、認可を受けて例えば50分とか60本、さらに追加できるものが来たら、また新たに申請してもらって、
0:21:44	でも全然構わないと思いますよ。終わりましたんだからそこは、最初から両者電流を含めた形の今のやつを放出し、するのか。
0:21:56	それとも現実的な線です。まずは申請を区切って、梅野さんから追加していくという、そういうやり方もあります。住宅ごとの、その関係もあるでしょうから。
0:22:07	どういう主体、
0:22:11	したかっていうのは、
0:22:13	ちょっとご検討いただけない。
0:22:17	背景現職そうですねはい。摂取は理解しましたので、減少機構単体では決められる部分もありますので、規制庁殿を受託。
0:22:29	委託元と相談して、
0:22:31	その上で、審査案件3の3社、行政相談に臨みたいと思います。
0:22:40	今先ほど湯田さんからの予測に限定してしまうと、もう伊奈家を400本しかありませんという制限ではなくて、今、現実的にあり得るのは400本なのでとりあえずいろんな問題の人がおります。
0:22:54	いや、何かあったら、状況が好転しちゃったら、追加でもらうということで、多分ねやってること同じなはずですよ。ここ2、3年以上経ってね。
0:23:06	ロシアから燃料が多分来ないんじゃないかと思って、それで結果的には同じなんじゃないかなっていう気はします。
0:23:16	僕は未来の話なんで何とも言えませんけど。
0:23:22	派遣職員、承知しました。稲葉さん、これは規制庁の委託元と相談する必要がありますけど、はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:33	ただこれを話を持っていくためには審査の形としてはもう、現時技術的な観点ではなくて、国際行政上、持ってこれそうもないものは落とした方がいいと。
0:23:48	おっしゃっているというふうにお伝えしてもよろしいですか私どもは勝手に言ってるということでは、一切言わないになってしまうと思います。
0:23:56	JAの意向として、
0:23:59	JAとしては審査側に言われたらや取り下げるんすか。へえ。まず法律を会社食うしてどうなるかというのはそうなった形、私は全くこのままで大丈夫ですよ。
0:24:16	そうしますと、どういう観点からおっしゃるルフトハンザなので、
0:24:22	検査の工程の数ですとか、そういったものが、記載内容の説明が、JAができればいいんです。
0:24:31	施行人の上限本数は、先ほど申し上げたように、維持したままにして、検査の範囲だけを変えるとか。
0:24:47	技術もそうですが、どういうふうにおプションとしてこの件を処理するかってことですけれども一つ案としては、設工認の申請に、ただし書きをつけるような形をイメージしています。
0:25:03	というのは、900万までがセットなんですけれども、ロシアの助成D400本までしかない場合には、検査は400本以下で行うと。
0:25:16	線で申請自体は残しておいて例規監査について言及質疑時そういう補正をすることです、まずそれが行政相談、どういった、
0:25:29	ああいう形であれば、法律上支障がないかと、というような相談になろうかと思っています。
0:25:37	うん。
0:25:42	あれですかねやっぱり事例としては、来る見込みがないけどもフルでとりたいていう。
0:25:49	陳情です。
0:25:51	原子炉今日江田です。来る見込みがないと言いまして、輸送契約自体まだ生きておりまして、そういう戦争という状態弁でもなく見通しもつかないので、現時点でもう来る来ないというのがはっきり。
0:26:07	来るものではないと、私どもここはもうさ、契約相手先ともまだはっきりと決めておりませんので。うん。うん。
0:26:16	基本は見込みがないんですけど、じゃなくて見込みがない、規模失っていないという意味です。
0:26:27	もう話が強いんですかね。来ないって意味じゃなくて規制庁からです。見込みがないっていうのは、
0:26:35	そういうことなんじゃないかと思うんで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:37	が、申請をする以上、ある程度その見込みがない内容を、
0:26:43	含んで十分に説明できないんじゃないかと思ってね、説明できるまで必要なので、繰り返しますけど、法律上、病院は、400 体じゃないと。
0:26:55	認可できないということが主委員会でいいますか、ちゃんと説明できればね。
0:27:00	中身を見ると、見込みがない内容が含まれているから、十分に現実的な説明ができないんじゃないでしょうかというような思いはあります。ですので繰り返しのなってしまうんですけど、けれども、そこは行政相談でして、その一部使用承認の形で部分合格を、
0:27:20	いただけないかというのが一つのオプションでありますし、
0:27:24	といいますのは、先ほど申し上げた 12 月にプラントの引き渡しがあつてですね、
0:27:33	年明けから、実際の燃料棒を装荷して、性能試験に行くにあたって 40%しかないという現実が、かなり濃厚っていうかほぼこのなんですね。ところが、
0:27:46	年度が変わって 4 月以降にもしかしたら好転するかもしれないと、そこは希望を失っていないものですから。
0:27:54	そういった部分合格ができないかというのが一つのオプションですけども。
0:27:58	ただ心配なのはそれが、
0:28:01	3 年なら 1 年なら、いや、2 年ならってこうどんどん延びてしまいますと、やはり設工認が 1 以降に閉じないことになりますので、その場合どうするかと。
0:28:12	いうことで現時点では、規制庁殿の委託もとつても、まだ決着がついておりませんし、あと機構と、それから移送業者との契約がまだ続いているので、
0:28:25	希望を失っていないという状況なんですけど、いずれ
0:28:28	判断しなきゃいい。
0:28:30	いけない時期が来ますので、そういったオプションが可能かどうかという意味で行政相談をさせていただきたいという趣旨でございます。
0:28:40	規制庁香山です。今おっしゃってたのは、基本ロジになってデブリは洋の話。はい。
0:28:47	業績もそうですが、両方ですね基本方針でも同じことが言えますが、
0:28:55	要望シーンは、もう一言、原子力もそうですがそういう意味で、基本炉心の方が先にですね。
0:29:03	主要な事業者検査を受けますので、それが
0:29:08	はい。年明け以降の性能検査になりますので、以上です。
0:29:18	整理しますと、
0:29:21	窪氏についてはね、3 者で、
0:29:26	取り下げにするかはまた、400 台以降は事業者継続するかってのはこれは改めていきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:34	という形なのかな。検査部もぜひ一緒に直してやりましょう。これはもう了解で、今 お答えしたのは、申請の範囲をどうしますかっていうそういう話をしてたので、
0:29:48	とりあえず、
0:29:50	この1部署に話をとりあえず置いとくとき、申請の範囲の話をして、
0:29:54	なので、出口茂呂氏の申請の範囲は、
0:29:57	黒で出てますけど、どうしますかっていう。
0:30:02	これに対しては、
0:30:05	あそこでもフルに入れられないということなのか、これでいくと、現実的な説明できない んじゃないですかっていう私の、
0:30:15	それを踏まえて、
0:30:18	どうしたいんですかっていう。
0:30:20	これについてまだお答えをいただいてないような気がするんですけど。
0:30:27	私が基本。研修期間様式の原子炉機構伊田です。はい。先ほど申し上げただし 書き案ということになろうかなと思います。甲斐関井は900トンまでいたしまして、 いずれにしても安全上問題なくできるというご説明を差し上げておりますので、
0:30:45	計画を上限として、期日を切ることになりませんか、きちっとできるというかただし 書きでいつまでに入手可能だった最大数で行くと。
0:30:58	それまでに、例えば来年の4月、
0:31:04	現在感想ですが、
0:31:10	設工認通りということで設工認申請書の中で、現有の燃料棒、
0:31:16	ボード燃料で、受験するという一文を入れておくというのが、ただし書きです。それ が、
0:31:23	そのことを主張し得る根拠としているのがですね。
0:31:28	今日押す資料18の1、2ページ目にもですね、記述してあるんですけども。
0:31:41	棒状燃料900本自体は単品として、設工認をし、寸法検査とか検査をしておしまし て、それをくみ上げて炉心とする際には、400本であろうが900本だろうが、
0:31:54	工事ではなくて、炉心構成の話です。
0:31:59	で、40本でも900本でもですね、その炉心構成作業自体同じですので、一番最後 の一文その普及、最大900本の炉心においても、
0:32:10	400本で炉心を構成することと、何ら手順は変わらないものですから。ですのでそ もそも、
0:32:19	900本。
0:32:21	が、
0:32:23	4090本だんだろうが、受験答申としては、
0:32:29	同様に行う時点の話としては、続ける。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:35	なのでその申請の範囲の中で、その正しい書きを入れておけばですね。
0:32:46	ま、
0:32:50	原子力リーダーですけれども、ただし書きを入れておいても、商売ケータ―受験のときに、受験必要な最大封を用いるというようなことを入れておけば、0本フルの枠を取って、
0:33:07	申請しても問題ないのではないかと思います、
0:33:12	考え申し上げ、受験に必要な最大すごい。
0:33:19	はい。使用前検査を受験するときまでに、状況が好転して燃料が運べるということもありますんで。
0:33:34	400本のまま、試験運転から400円で受験するし、もし56に入れば450本建設し、休憩、原子炉表示材です。受験自体は、
0:33:47	受験自体はやはり1度400本で区切って受けてもよろしいかなと思います。現実に入ります。
0:33:59	炉心、従ってただし書きで、400本カーで使用前事業者検査を行うと。
0:34:07	見ておきます。そうしますと、残り、このときまでに燃料が届いた時にですね。
0:34:15	届いたときに改めて届いた燃料について、
0:34:20	受験を行うかということについては基本炉心のときのオプション等、
0:34:25	同じでいいのではないかと思いますご相談させていただいてそこに、先ほどご説明しました通り燃料が別に増えたからといって、私ども手順に何が変わるわけはありませんので、
0:34:38	調査は追加で確認したいとおっしゃられる場合は、一部使用し本人ないしは使用前事業者検査を、私ども事業者の責任で行って、規制庁さんにはそれを見ていただく。
0:34:51	いうオプションを取れば、よろしいのではないのでしょうか。
0:34:58	あれかな。多分これやってもあまり意味がないとなぜなぜかっていうと口頭でやってるからね。そんな話じゃないんですよっていう、その2。
0:35:11	元の説明によるこの非効率性が出てきちゃってるんで、なので、今言ったような話はちょっともうちょっとないので、ちょっとまとめていただいて。
0:35:23	イエイ。改めて整理、整理をしていただければという。お願いします。はい。はい。資料が用意できてないので、その辺整理して。
0:35:35	お示ししたいと思います。
0:35:40	第二課かなと思いますので、まだ丸三田氏の新と④矢代氏の、なかなかこれ四つ選定したわけですけれども。
0:35:50	その二つは、どうしても現実的に、形のもので、検査結果と確認ができない。
0:36:00	先生の会議方法として、とりあえず400本、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:05	検査を行うものとして、
0:36:08	うん。
0:36:10	幸せは、
0:36:12	別に入ったものは使う。ちょっとなかなかここまで作ったこの話の流れと、なんかもう、
0:36:21	やっぱりそう変わりというか、
0:36:29	任そう私の個人的な感想でしかないですけど。
0:36:38	では、丸さん、田代氏と丸井恩田副都心は、燃料棒の本数は取らないで、実はありました。
0:36:50	構成して、人件費で確認することは、原案に訂正で今どうしようという話の時に、藤はしゃべりよん 400。
0:37:01	こういうふうに入って、
0:37:02	上、当間、左の技術には損得持っている燃料の再質問、1 個、松原さん。
0:37:14	的な考え方を持ち込むけども、これを持ち込んできたときに、その場で半田主任と丸橋本多浩を選定した意味がなくなっちゃうので。
0:37:29	何か今までデブリのミヨシの審査として、進めた、進めてきた話と、何か。
0:37:36	全然方向性が違っちゃう。
0:37:39	だからっていうか、そうですか。だからちゃんと塩田主務入れた形でやりたいっていうのが、
0:37:46	申請は申請はです。
0:37:49	on多い事項だったように聞こえたんですけど、違う。はい。
0:37:54	受験は 400 体であるけども、申請のファインは 900 体のうち、
0:38:02	この原則競争ですが、はい、申請自体は 900 本までカバーして、これ解析も行ってますので、そこは有効にしたいと思っています。ただ今後、もし燃料が来ればです、当然検査すれば、それが使えるようにしたいというのが、
0:38:17	意向です。
0:38:19	もう一つは 400 本と 900 本で、ちょっと話の途中だったんですけども、この棒状燃料の本数が増えたところですね、実験、炉心を構成するという点においては、何ら変わらなくて、その手順は、保安規定で担保するっていうところなので、
0:38:39	何ていうんですかね、90%に増えたからといってもう 1 回受験する意味があまりないのではないかと、感じているところなんです。
0:38:52	決して 900 本の燃料棒を検査しないわけではなくて、
0:38:56	単体でももちろん検査してますし、それから格子版も含めて、実際、装荷できるとか、安全番が購入できるとか、そういう個別の機能試験は当然やりますので、
0:39:09	炉心構成、炉心の検査としてね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:13	400 本以下の受検炉心をそれから 900 本までの事業主も、
0:39:20	同じ手順でやるのもう 1 回やる必要がないというふう、重要性が小さいんじゃないかということは、感じているところです。
0:39:28	そこはね、検査部門なんだね我々は検査の手法は置いといて、必要な検査は①から④出したって判断が、
0:39:40	はできますけど、それぞれをどういう位置付けの検査でやるべきかっていうのは私はわかんないよね。それは今主張されても、丹下今さんは、そっちました。
0:39:50	はい。
0:39:52	一つちょっと確認したいことがございまして、Chairmanの見解ということで、一番から四番までの事件同士は妥当だと、いうことだったので、
0:40:04	その点については、
0:40:07	許可書今回も書きましたけれども、この許可表の中では、
0:40:15	炉心が高い法規から低い方とか、それから反応度価値、小さいものから大きいものへってというような基本的な道ろ紙に対するに、炉心構成の考え方があるんですけれども。
0:40:29	検討班としては、もうこの、一番本数が多い。
0:40:34	それから 40 センチとかのところで受験するということ。
0:40:41	むしろそうしす。
0:40:42	そうしなさいということだったんでしょうか。
0:40:45	結果的にはですね、何でなぜかっていうと、
0:40:52	どういう方針で検査すべきかっていう考え方を示すのは審査がわかるんですよ。うん。なんで審査側から代表老人等の建設べき方針として
0:41:02	こういうものができ、適切なもう日がスプーンと。
0:41:06	我々が、以上です。わかりました。ということで、にしても、
0:41:16	考え方として、検査官側としても、もう違和感がないから、そういうことを確認しました。なるほど。そういった意味での違和感はない。わかりました。それで耳に入り細に入り、
0:41:28	この水位は 40 センチなんていうのは計算は 20 分。
0:41:35	成松伴原子力艦そうですが、しょい意味でこの通しページの、3 ページに書いた代表炉心と実験炉心の話はまた新保伴のお考えだということでは承知しました。
0:41:48	そうしますちょっと私どもが気にしているのは、許可それ書いたことと違うことをやることになるので、
0:41:55	それを、事件炉心がこうなった代表同士がこれ事件後になったということなので、
0:42:03	許可書に書いてないことでもうするとなったらですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:08	それは事業者の判断でするようなどころでもないかなと思っていて、あくまでそれはもう、審査の過程、それから検査の過程でそうなったというふうに、
0:42:21	それしかないんですけれども。
0:42:24	点をわーうま許可。
0:42:28	うん。許可通りで、
0:42:30	なくてもよろしいでしょうか。
0:42:32	工藤さんがおっしゃった許可通りでないっていうのは何を言いたいのかよくわかりませんね。
0:42:36	はい。
0:42:40	おっしゃるかもそうですが、
0:42:42	今日の、
0:42:44	ここで約束している基準値を制御できるってことを確認しに行っていないんですが代表炉心の解析とか何かやって、そういうことじゃないですか。
0:42:54	許可通りになっていたらどういう趣旨か、ちょっと説明してもらえますか。水井高野様ですが、今日の資料の中、ST18 の一番の下段にある注釈 1 ポツ、
0:43:05	18 ページ、1 ページにある。はい。
0:43:09	菊池の下の注釈なんですけれども。はい。
0:43:14	そこで、許可を受けた。
0:43:16	STACYの許可の、添付書類 8 の第 3.3 節っていうのは、運転手順というところ。
0:43:25	行目ですか。記録を読んでいます。はい。オオウチの方ですね。はい。一番注釈一番なんですけれども。
0:43:33	ここは添付書類 8 第 3.3 節っていうのは、運転手順が書かれているところです。はい。そこに実験計画の作成にあたり、
0:43:44	以前解析値の間違いによる核的な方が逸脱防止するため、
0:43:48	道の写真構成における条件の変更は、
0:43:51	委員会水にあっては降水から低水に立件ソウカ物によってはその反応度効果の小さいものから大きなものは確保していくという一文が、
0:44:01	あります。それから臨界実験装置の。
0:44:03	基本的な未知炉心の考え方なんですけれども。
0:44:10	それとちょっと異なるかなと思います。許可整合の観点で、整合しないと思ってます。
0:44:20	しないのではないかと心配して、どう違うか。
0:44:28	はい。どうでしょう。はい。それは通しページ 3 ページのところ、
0:44:34	はい。これ、大兵藤審議と。
0:44:37	経験炉心の説明なんですけれども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:44:40	以上です。はい。3 ページです。表 1 がございますけれども、ぜひ、
0:44:47	この代表炉心に対して、表 2 で言う堅牢支援を行いますけれども、
0:44:54	もともとこの小児の受検炉心の選定のときには、
0:44:58	①番から④番の代表炉心で受験。
0:45:02	すべきだと、いうことだったので、
0:45:06	本数が一番多くなる 69 本。
0:45:10	で、
0:45:11	するとか。
0:45:13	あとコンクリートでは臨界にならないので 25 分ですけれども、
0:45:19	40 センチでやると。
0:45:21	というようなことなので、
0:45:24	そこが
0:45:26	初めて組む炉心になるので、
0:45:30	なので、今、今申し上げた通り、
0:45:33	この
0:45:34	工水から訂正印とか、
0:45:37	競争活動によっては反応度効果の地域。
0:45:39	小さいものから大きなものに変化させていくっていうのとちょっと異なるかなと感じています。
0:45:47	もうイコール実験ということで、
0:45:53	はい。原子力機構飯田です。はい。ここ代表増進としてやられたのを初期にやるということから言いますとやはり 69 本から、例えば鉄 6、0 に出して別 69 本とさせていただきますけれども。
0:46:08	月 69 本から始めるというそういう。
0:46:12	方針を示されていると、管理しております。
0:46:19	私どもご提案としては、最初は、頁岩一本化と当初申し上げておまして、資料の改定前の間では、今はさらに 1 本は宇和というのをちょっと譲歩しましたけれども、最大相当特に入れるというのは私どもよくないということで 25 本というご提案を差し上げて、
0:46:39	おりましたけれども、これはやはり許可の考え方からして、やはり徐々に刻むべきであろうということ、想定してご提案差し上げていくらしいです。
0:46:55	いや審査会合では、
0:46:58	特別な審査事項なんで、
0:47:07	多分、
0:47:08	三好ですけどちょっといいですか。はい。どうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:13	今の話も含めてですけど、今日のJAの説明って、これまでの代表者を選んでいく過程に対して、かなり
0:47:23	ちょっと先ほどありましたけど、方向性が違う話を出してきてるっていう印象がすごく強いですね。今の許可整合で、
0:47:34	69本は許可整合ではないっていうそういう解釈も、
0:47:40	ある意味初めて言われてると思うんですけど。
0:47:45	もともと69とかある程度の、
0:47:50	茂木田井が入った炉心でやる必要があると言ったのは、そういったものが優位である炉心でやらないと。
0:47:58	結局、基本レジンの検査とどこが違うのかというそういう議論があってそういういろいろ検討したわけで。
0:48:10	あそこはですね
0:48:12	要するに、だから1本から1本で試験を受けたいと、いう話にまたちょっと戻されてるようですけど、これは本当にそれを主張するんであれば、その審査会合等で、
0:48:26	やった方が私はいいと思います。私は思いますんで、そこは仕切り直しをしながらよろしいでしょうかね。いや、今の話をですね、本当にいわゆる臨界集合体の、
0:48:39	主要な検査の考え方として、
0:48:41	これもそんな考えはJAEAでもとっていかなかったんでね。
0:48:45	一本一本と90万の話で、ちょっと
0:48:52	近接の仕方が同じだから、
0:48:55	400本以下であればいいという、またそれも、これまで代表炉心を決めて、
0:49:00	話をしてたものを、引き戻す議論をされてると、いうふうに思います。手順がおなじだからどれでやってもいいという言い方は、
0:49:12	これ
0:49:15	非常に乱暴な話でね。
0:49:18	教授はもちろん同じなんですよ。
0:49:21	ですけど、
0:49:23	ハード的に、
0:49:26	提出システムが今900本ということを出してる。
0:49:31	最大菅古瀬達するだから、
0:49:35	その18本ちょうど言わんですけども、それに近い形で、
0:49:40	KSKが、
0:49:42	核的制限値を満足ですと。
0:49:45	いうことの見通しを示してもらってで、それについて、実際に現実的な組める炉心で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:54	検査をすると、そういう流れなわけだね。
0:49:57	何かそういった議論、今日の話は随分引き戻してるっていうふうな感じが正直して ます。ちょっとコメントですけど、特に引き戻しているわけではございません。私ど も当初炉心、
0:50:14	もう規制庁さんのご指導のもと炉心を含むということに関しましては、もう承るつも りしております。
0:50:25	ただし、明らかに教習発言じゃないんじゃないですか。はい。そういうことに対して 違和感があるってソノさんはそういう言い方されましたよね。
0:50:37	蒸気乾燥で作業しないんだったら納得してないで審査会合でやればいいじゃない ですか。
0:50:42	元助教の相馬です。
0:50:44	説明なんですけれども、規制庁等、ご指示に従って、1本からというのはもう止め ております。
0:50:55	25万というのは今回の話、69本の前にですね、25本とか、それから70センチあ たりでというのを1回提案しましたけれども、
0:51:09	そこが、そういう意味で、機構としても、季節をどンドンし、指示に従った、
0:51:18	事件としての考え方だと思っております。
0:51:22	で、
0:51:24	それに対して69本という話だったので、
0:51:29	その点について確認させていただいたという趣旨でございます。
0:51:37	いや確認させていただいたってどういう意味だかよくわからないけども。はい。で す。はい。同じで40から240までで、
0:51:49	その手順が同じだから、400本以下でいいというその部分に、主張として強調さ れるけど、
0:51:56	要するに40でも70でもね、安全性の観点から言えば、委員会近接手順をとるん で、そこには差がないんですよ、基本的にあそこについての認識が。
0:52:07	話を聞いてると、もう明らかに違ってるなというふうに思います。私はね。
0:52:14	要するに40は危険が危険だとか、
0:52:18	なんかそういうニュアンスを込めて、何か注意、中間の推移を選んではというよう な説明になってるようですけど、本来、議会建設当時も通るんだから、
0:52:31	どういう炉心で組むのが、範囲に対して検査が検査が妥当なる心かということで、 そういう議論を今までしてきたわけじゃないですか。
0:52:42	それ、それが、
0:52:44	その許可、許可に整合してないと。
0:52:48	いう主張ということをさ、さっき云々されるんだったらね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:53	これ単にこういうある程度コンセンサスを得ることを目的にしてね、議論を、
0:53:01	ある意味戻してますよ。
0:53:03	原子力機構伊田です。まず一番に書いてあることは、議論の前提でありまして、私どもも規制庁さんもそれは前提とした上で審査をしていただいていると考えております。
0:53:15	私ども、規制庁さんのご指導をもとにしますと許可等矛盾するというか読めないことをやることになりますけれどもというのは、新しい話を出しているわけではなくて私ども当初から、
0:53:28	決まるべきであるということをご説明差し上げておりますので、許可に書いてあることを今初めて聞いたようにおっしゃられるのはちょっと、
0:53:38	意外であります。
0:53:41	いや、別に初めて聞いたとかいうことではなくて今の議論の中でね。
0:53:46	要するに、
0:53:47	最初当初出してきた1本というような話が出てきたのも、その背景があるのかもしれないけど、その背景があつてのことでございます。
0:54:00	だからそれではね設工認での計算の意味一方ね、設工認での検査の意味がない炉心になってるっていうそういう判断があるわけですよ。
0:54:12	だから、要するにね計算心をどうするかその検査をするまでに、どういうね、手順を取るかっていうそういうところまでは細かく踏み込んでないけども、
0:54:24	うまくとも、今、
0:54:26	今の設工認で出している範囲に対して、
0:54:31	設計なり、検査で確認できるという炉心として、今、代表炉心をこれまで選んできたと言う認識なんですけどそこは違うんですか。
0:54:43	議事課もそうです。そういう意味で、気象庁殿の考えで、
0:54:50	1本ではなくて、ある程度の装荷物を総装荷する。
0:54:56	それから、臨海水についても、
0:55:00	臨海水の基臨界近接という意味ではなくて、核的に、
0:55:05	臨界水位が低い方が核的に厳しくなるから、低い方を選ぶということで、その趣旨は理解しておりますので、それで、いきなり、最大本数の69本とか、臨界近接の40センチ、
0:55:20	とかではなくて、その中間的な、25センチか70センチでご提案したんですけれども。
0:55:27	最終的には、表1の代表炉心で一番厳しいところで、受験、
0:55:36	すべきという話が出てきたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:41	あそこを、一番最初の許可の不整合という話で、心配しているという点。それから、4 署っちよん協。
0:55:51	それから、この 900 本の話については、
0:55:55	これは別に、40 んと。
0:56:00	現実的にはあんまりしかできないかったとしても、その 900 万で組む場合も同様に、募集構成すればですね、あとは、事業者の、
0:56:13	同じ手順で、原則は運転できますよという話をした。
0:56:20	ところなので、
0:56:21	決して
0:56:26	基本方針と差がない、いいところで受験したいと、そういうことを申し上げていることではございません。
0:56:37	ちょっとこれ以上申し訳ないけども、
0:56:42	人数の許可栽培の話まで今日出してくるのかなってのがちょっと驚きましたね別に臨界実験としてね、そういったところでの原則があると。
0:56:56	いうのは 100 も承知してるけども、
0:56:59	だからといって、1 本とか 2 本とかね。
0:57:03	言って検査が終了だっていうそういう技術的な判断をしていることについては、最初当初ね出してきた。
0:57:12	については、ちょっとこれまでの、
0:57:15	臨界装置のいわゆる検査、炉心選ぶっていう考え方からすれば、ある意味で、
0:57:24	5 日目の一般的な考え方ではないので、
0:57:29	ちょっとそれだけは申し上げますよ。その点を承知しておりますので。なのでやはり、この中間である 25 本というのが提案申し上げたんですけども。
0:57:42	今から 1 本に戻せとか、戻したいとか、そういうことを申し上げるつもりはありません。ただ、小 1 の、今日の資料の 3 ページ、表 1 と表。
0:57:53	2 ですね、一番厳しい炉心であり受験をすべきだと、いうことに対して、やはり、
0:58:01	許可書等の影響がその道炉心に対する炉心構成の話ですね。
0:58:07	少し矛盾点が出てくるので、
0:58:13	気にしているところです。
0:58:18	ケース 1 本で受験したいとか、そういうことを申し上げているつもりはございません。あと、490 本も同じです。はい。
0:58:29	どうすんだ形としてなんですけども、この選択肢のところ、実験計画の作成に当たりのくんだり前後し適用されるということですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	継続校もそうですがはい。受験方針っていうのは初回炉心になりますので、そのあと、実験計画ができますので、そういう意味では、受験労使に対しても、それから後期計画策定、その代表炉、1月意見募集はこの実験計画の一番最初、
0:59:02	そして実験計画区分ですねと言います。はい。はい。教授もそうです。はい。そのように考えています。このファンド産業は、受験ご審議も主張されなければならないってということですね。
0:59:13	はい。2件労災。そうです。議事課の園田はい。そうです。
0:59:19	というのは受検炉心だろうが実験炉心だろうが、1炉心に対して炉心構成するという点については同じかと考えています。
0:59:32	ミヨシですけどねその辺も、
0:59:35	ソノさんの主張っていうのは微妙にずれてると私は思います。これ単なるコメントですよ。
0:59:43	実験計画にあたっては、そういう反応度のね少ないところとか、水位が場合によってはそれが低いところが高いところとか、そういう原則はあるわけだけど。
0:59:55	受験方針っていうのは、実験炉すんじゃないですよ。
0:59:59	あくまで次、受験路線というのは、そこで範囲を取って、
1:00:05	はい。
1:00:08	許可で、或いは設工認で、
1:00:11	考えてる。
1:00:12	本数等で、一応今後、
1:00:16	実験でやる条件に対しては概ね核的制限値が守れる見通しがあると、いうことを確認するために、運転する炉心があって、
1:00:27	実験炉心ってのはそこで認められて初めて、
1:00:32	その後行うのは実験、炉心としてやってもらえばいいけども、
1:00:38	時間炉心をね何かもうすべて当実験計画の中でっていうふうに、今回のデータ資料も含まれ
1:00:49	当人はそうなるんだけど、あくまで今、設工認での検査路線というのは、実験を改正するために、
1:00:58	検査をした範囲で合格すれば、その後、実験、一定の条件をつければ、
1:01:07	満足できると、いうことを確認するための検査であってね。
1:01:13	その実験の一つだっていう考え方は、今まで取ってきてませんよ。
1:01:21	ちょっとその辺についてのあれも、ちょっと意識というか、考え方が、
1:01:29	これまでにないような考え方が出されてきてるような印象を私は持ちます。
1:01:38	実験計算方針で例えば1本とか2本とか、今話があったけど、
1:01:44	そういう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:46	そこで出てきてる設工認のものを使った炉心の特徴が、
1:01:51	現れて、
1:01:52	いない方針で検査をしたってしょうがないわけだから、そういう意味で、これまでいろいろ議論して、1 から 4 まで決まったと、ということなのでね。
1:02:04	それに対して異議があるのであれば、またそれはそういう形になればいいと思いますよ。
1:02:12	何か今までのこの外部同士を決めてきた声を引き戻してるといふうにしか思えないんですけども。
1:02:20	これ印象ですけどね。元助教さんですが、この 1 本の話はもう忘れてください。皆さん、もう、私たちが、
1:02:31	今日の説明の前に持ってきたのは、
1:02:37	25 本というのを提案しましたけれども、
1:02:41	あの時、実験計画の話はですね、そういう意味で、この正一が本格的に最も厳しいミヨシんだと、ということなので、
1:02:54	本来であればそういったのを監査していくのが実験計画であるんですけども。
1:03:01	計画的に厳しいところを探査するなんてのは実験計画じゃないでしょう。
1:03:10	あれを言ってるわけじゃないんだから。
1:03:13	はいエンシュウ菊田です。
1:03:16	添付書類 8 の文章は安全配慮で書かれたものですので、
1:03:22	実験の人だから、検査方針だからということで、敵を変えるものではないと私ども考えております。未知のものをいきなり。
1:03:33	でパツといえるのは危ないよねという、ごくごく常識的なことが書いてあるだけでございますので、これ一検査方針だから適用しないでもいいというのは私どもは考えておりませんで。
1:03:45	私ども議論を引き戻しているつもりはないんですけども、規制庁さんの後のもとに、ただいました健太郎新で行うのはやぶさかではないといえますかも承るんですけども。
1:03:59	それについてですね、ちょっと申し上げ、やはり申し上げておかないと、規制庁さん許可書は、お互い前提として持って、
1:04:11	これは申請してくれました。臨界水によって降水河成水は、県個人としてはもう 140 センチ、40 センチだそうだからそこはさ。
1:04:23	ちょっと車を 130 とか 210 提案しておりましたけども、一つは、はい。
1:04:35	ただし、意見が土木審査会はどうされます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:40	これ、40とか70っていうのは結構ご心配されてしまうから、僕承知はそういうことを考えるときに、おっしゃってきたもので承認ですけれども、私どもがその許可書の記載を全部、
1:04:57	念頭に置いてある程度お選びしたのが前回、以前の表にだったんですけれども今回、こうなりました私どもも、現実的な危険としてわあ、それほどなくできないことはないかなっちは40、かなり広い、明日言えね。
1:05:17	市長といいますか旧町村です。
1:05:22	田植えで進化してらっしゃるという前提になってますんで、何か、
1:05:27	これ100100とか90とかあったらいいわけ聞かかなと思うんですけども、いやちょっと待ってください。会合といいますのは私どものアイディアの考え方の変更。
1:05:44	希望です。
1:05:47	6月については、会合についても、私ども正直、もうとりあえずここで申し上げ、
1:05:57	というよりも、何といいますか、後になって、これ一ん地区が、
1:06:02	40センチでやりたかったっていう話にもなりかねませんので、私どもちょっとやっぱり、
1:06:10	だから止めるのは承知の上なんですけども1回は申し上げざるをえなかったと申し上げて、いやもう会合の場で竹尾についてということは私どもはちょっとおりません。各社のは、
1:06:25	個人の意見を欲しい。
1:06:30	もう、むしろこれは技術関係の確認のところなので、両者の意見が違うということが今確認できました。それについては、
1:06:40	それ以降もやはり審査会合でやるべきなんじゃないかな。
1:06:43	原子力機構イザワです。先ほど申し上げましたけれども設置変更許可申請書をお互いに持った上で、私どもは申請し、規制庁さんたちは審査をされている。この防止を解釈された上で、表2を、
1:06:56	意見が違うとおっしゃいましたのは、この文章を読んだ上で、もう表示だと規制調査は主張されると。
1:07:04	いうこと。
1:07:06	意見が違うとおっしゃいましたんで、この場で意見が違うかと思えます。
1:07:13	私どもとしてはもう、正直、審査会を重ねてというよりは、
1:07:20	もう1回申し上げるだけで、お受けしたいかなんか、伺います。確かにやらないと、機構が40から始めて上がったということになりますと私どもはこれ安全系して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:07:35	大岩レールんですね、三吉さんは先ほど、ちゃんと思います。ベースでも変わらないとおっしゃいましたけれども、水1ミリ変化当たりの反応度添加率が全然違いますんで、反応度が詰まりましたけども、何とかぐっと入る。
1:07:54	会合になります。これはですね。
1:08:01	ここまでやっていただいた猪股西郷です。社長の委員等に口から仕切り直しというのは私どもは全く考えていないんですけれども、不整合だとおっしゃるのであれば、
1:08:15	整備後に、
1:08:17	だから前村と考えるのかっていうのを主張していただいて、我々の考えを延ばして止めさしていただいて議論しています。
1:08:27	大山参事官炉心イシイ入れる場合そうですね共有していただいて、これを踏まえて実験炉心の選定範囲ということで、これももう何度も香川の意見を。
1:08:40	動かして、ここまで持ってきたんですけど、この段階で不整合だとおっしゃるのであれば、
1:08:46	高機能も含めていってもまた新たな考え方で、考え方を2床有無とは言いませんけど、また違う会社がされてくるから、これ以上、多分、
1:08:57	やられたそうではいい。
1:09:02	とですね、審査会合まで説明することになると思いますけれども、この場でも申し上げておきたいのは、今の段になってこの話を持ってきたわけではなくてですね。
1:09:16	許可の段階から、こういった考えがあって、当初1本というのは話しましたがそれは、規制庁道路の趣旨を理解して、それで、ある程度反応度効果が見込めるところで、25本とかの提案を申し上げる。
1:09:31	あと、
1:09:32	その上で、今般、
1:09:36	見解で、今日、この3ページの受験炉心としては、その一番厳しいところで受験すべきだと、というようなことが示されたので、
1:09:49	その点について、許可との整合が気になると、いうことを申し上げましたそれを踏まえた上で問題があるのかどうか、作成に入っていただいて、
1:10:02	決算発表させて、
1:10:05	はい。
1:10:06	はい。よろしいでしょうか。皆さん何か他に事実関係確認することありますか。
1:10:12	ちょっと話がやっぱりですとか見ながら説明するのがやっぱり流れを置いてないので、ちょっとスライド資料ですね。そうですね。
1:10:23	パワーポイントは、これはもう私の方から、笠間です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。